

農林水産大臣賞(交流促進部門)

農事組合法人 ^{まんよう}万葉^{さと}の郷ぬかつか ～集落営農ビジョンに位置づけられた地産地消～

代表者: 福井次男

所在地: 滋賀県東近江市

構成員: 生産者 32名

活動開始年月日: 平成17年6月(法人設立)

表彰理由

水稻栽培についてはすべてが兼業農家の集落で、集落営農ビジョンをもとに一集落一農場による集落営農に取り組むほか、女性や高齢者の労力を活用した農産物の直売及び加工品の製造・販売など、集落内の「人」、「モノ」を十分に活用した取組。

農薬、化学肥料を通常の半以下に抑えた「環境こだわり米」の栽培など、環境に優しい農業・消費者との交流を展開するとともに、耕畜連携や養蜂農家との連携による地域循環システムを確立。

女性農業者が中心となって、地元の「環境こだわり米」を使った米粉パンの商品化にいち早く取り組み、地元米の消費拡大にも貢献。

取組内容

1 一集落一農場による集落営農

- 「営農部」「加工部」「直売部」「飼料作物部」の4部門が、それぞれの能力発揮と責任体制のもと、独立採算による運営。「営農部」は集落一農場による水稻栽培を営み、遊休農地対策に貢献。
- 「直売部」が運営する直売所では、集落内の高齢者が週4日、野菜や切り花を出荷するほか、部員自らが店に立ち、生産者と消費者との交流に寄与。

2 環境に優しい農業の展開や消費者親子との交流の促進

- いち早く「環境こだわり米」栽培に取り組み、農薬や化学肥料を減らした農業を展開。集落内の全てのほ場で「環境こだわり米」を栽培し、生産から販売まで一貫した栽培・品質管理を実施。
- 消費者親子のグループを募り、オーナー制による田植え、田んぼの生き物観察、さつまいも掘りなどの交流体験を実施。5年目を迎え、平成21年には11グループ(48名)が参加。
- 「飼料作物部」では、「営農部」と連携し、稲わらを飼料として活用するほか、牛糞に籾殻を混ぜ堆肥を作るなど、耕畜連携による循環型農業を推進。
- 化学肥料を減らすため「地力れんげ」の作付けに取り組み、養蜂農家かられんげの種を提供を受けるとともに、はちみつは直売所で販売し、生姜糖やシナモン糖の原料としても活用。

3 大人気の米粉パンをはじめとした加工の取組

- 「環境こだわり米」を活用した米粉パン、クッキー、パウンドケーキ、ラスクなどのほか、地元ジャージー牛の牛乳を使ったソフトクリームなどの加工品を開発・販売。
- ミニ米粉パンを市内12の保育園におやつとして納入し、地元の子どもたちに提供するほか、市内外のイベントに積極的に参加し、米粉パンや米粉を使った加工品を多くの消費者にPR。